

会 議 録

会議名	平成 28 年度 第 1 回文化によるまちづくり推進委員会
開催日時	平成 28 年 10 月 28 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分
開催場所	市役所 3 階 第 2 委員会室
出席委員 (7 名)	齋藤委員、比嘉委員、寒竹委員、林委員、長岡委員、酒井委員 田村委員
欠席委員 (6 名)	廣田委員、岡本委員、縄手委員、千々松委員、加藤委員、 富田委員
傍聴者	なし
担当課及び 出席者	文化・スポーツ振興部：姫井部長 文化振興課：西田課長、渡辺課長補佐 文化・スポーツ政策室：船林室長、隈田主事
会議次第	1. 辞令交付 2. あいさつ 3. 議事 ① 平成 28 年度文化振興関係事業について ② 来年度の文化振興関係事業について ③ その他 4.その他
委員長 事務局 事務局 委 員	1. 辞令交付 新たに委員となった寒竹委員及び長岡委員へ辞令を交付した。 2. あいさつ 姫井委員長から新たに文化・スポーツ振興部が設置され、部内は文化・スポーツ政策室、文化振興課及びスポーツ振興課の 3 課となったことの報告とあいさつがあった。 その後に委員及び事務局員の自己紹介を行った。 3. 議事 28 年度文化振興関係事業について事務局から説明。 アウトリーチ事業（小中学校での演奏会）について、ピアノとバイオリンの演奏を目の前で観る機会を得られて良かった。子供たちも興味を示し、帰宅後に演奏者のプロフィールを調べたりしていたようである。

委員長	学校によっては保護者や地域の方を招待したところもあった。せっかくの機会なので、今後は学校を通じて地域の方々にも参加を促していただきたい。
委員	文化ふれあい事業（茂山千五郎家 狂言公演）について、今年度は文化協会と市の両主催により実施した。良い面もあり、問題点もあったが、今後は市と文化協会が事業協力を話しあう会議をもってほしい。市の事業計画を作成する時は文化協会の意見も聞いてほしい。
事務局	今年タイアップした狂言公演事業の反省を踏まえて、今後もより良い事業となるよう文化協会とも協議したい。
委員	この会議で提案したことについては、事務局の方向性を示すようにしてほしい。
委員長	事務局で回答できるものは、次回の会議で報告をお願いする。
事務局	来年度文化振興関係事業について事務局から説明。
委員	演歌やお笑いなども開催したらいいかと思う。ただ、市の事業となると、意思決定の時間的な制約や予算の問題などがあり、難しいことも多いと思う。学校、文化協会、地域と共同して、文化によるまちづくりを目指したいと思う。
委員	市の事業の場合、事業を企画して予算が確定するまでは、正式に依頼ができない問題点があるのでは。また、多額の予算を伴う事業は予算が不足するのでは。
委員	文化協会では会員がチケットを手売りして集客の努力をしている。市も、単にポスター、チラシだけに頼るのではなくPRを工夫する必要があるのでは。
事務局	指摘を踏まえ集客の工夫を努力したい。
委員	市が事業を実施するにはいろいろな制約がある。将来的には文化振興財団化を目指すべきと考える。その過程として、まずは文化

	協会などとの共同から始めるべきである。
委員長	今後の財団化について事務局に検討をお願いします。
委員	有名なアーティストは費用がかかるが、集客できれば文化に対する興味のきっかけになる。民間では採算が合わなければ事業は実施しないが、市として実施するのであれば、チケットを多く売ることが肝要であり、予算が不足するなら協賛を募るなどの方法も検討してほしい。
委員	市主催文化事業の予算を市民一人当たりによれば30円程度である。これでは市民全員を満足させることは難しい。今後を担う子供たちを対象の中心にせざるを得ない。ただし、子供に対する文化への働きかけは県内でも上位にあると思う。
委員長	事務局は事業予算の確保などに努力するように。
事務局	<p>ガラス展については、次回のガラス展は平成30年度に第7回現代ガラス展を予定している。平成29年7月には作品募集を開始し、平成30年4月には作品審査を行い、7月か8月に開催を考えている。</p> <p>隣の宇部市は彫刻のまちと定着したとを感じるが、それには50年を要した。本市もガラス展を継続し、ガラスのまちを定着させたい。若手のガラス作家には、本市ガラス展はガラス作家の登竜門として定着したと考える。これをさらに広め、ガラス文化によるまちづくりも進めていきたい。</p>
委員長	市は文化振興に注力するので、委員の皆様も文化によるまちづくりの実現について変わらないご協力をお願いしたい。委員会は次回2月の開催を予定している。